

# 令和6年度 学校経営計画書

石川県立輪島高等学校 学校長 平野 敏
------------------------

## 1 教育目標（目指す生徒像）

グローバルな視野を持ち地域に貢献できる自立した社会人の育成

《 校 訓 》

- ① 誠実：あたたかい心のふれあいを大切に、自分に正直に生きる 【素直な心】
- ② 覇気：困難から逃げず、高い志を掲げ自信をもって最後まで敢然と進む 【明るい心】
- ③ 努力：能力を最大限に発揮し、創意工夫しながら、たゆみなく努力する 【まじめな心】

## 2 中・長期的目標（経営方針）

### (1) 学校の現状(地域等からの要望)

- ① 生徒の学力差に対応した深い学びを目指し、多様な進路志望を実現するための力を養成する指導が求められている。
- ② 生徒の規範意識を醸成しつつ主体性と協働性を高め、自立した社会人となるための能力を育成する指導が求められている。
- ③ 産・官・学界の連携のもと、恵まれた地域資源を活用し、地域全体の教育力向上にも資する教育活動が求められている。

### (2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 自他の個性を尊重し、主体的に地域と関わり、グローバルな視野を持って積極的に地域に貢献しようとする意識を高める。
- ② 習得した基礎的基本的な知識・技能を生かして思考を深め、判断し、適切に表現・実践できる能力を養成する。
- ③ 論理的思考力及び総合的実践力を高め、互いに切磋琢磨して自己実現を果たす集団作りに努める。

### (3) 教職員・学校組織等の望ましい在り方

- ① 学校長の学校経営方針のもと、全教職員が学校経営参画意識を持って主体的かつ協働的に教育活動に取り組めるよう、組織的教育力を高める。
- ② 地域・保護者との連携を深め、課題に対して丁寧かつ速やかに対応し、開かれた学校経営を推進する。
- ③ 教職員一人ひとりが校外・校内研修によって学習指導や生徒指導における専門性を高め、全教員が協働して学校全体の教育力を向上させる。
- ④ ワークライフバランスを考え、多忙化改善の具体的な取組を実践する。

## 3 今年度の重点目標

### (1) 学びがあり進路実現できる学校

- ① 教育委員会との連携のもと、2次避難している生徒の学習環境を整備する。
- ② 「コア輪島」「夢道場」などの自主学習活動を通して、生徒が主体的かつ発展的に学ぶ姿勢を育成する。
- ③ 教員の教科指導力を高め、3年間を見通した組織的な教科指導と進路指導の実践を図る。

### (2) 人間力を向上できる学校

- ① 部活道については、活動場所や活動内容に創意工夫を加えながらできることから実施し、順次拡大していく。
- ② 学校行事を通して、他者を思いやりよりよい人間関係を築こうとする心を育成する
- ② 地域、NPO法人、大学などとの連携を強化し、多様な人々と協働して課題解決を図る姿勢を育成する。

### (3) 地域と共に成長できる学校

- ① 「WAI活」を「ふるさと再生」に特化した取組として充実させ、地域貢献意識の向上と実践力の育成を図る。
- ② 輪島市主導の「高校魅力化プロジェクト」との連携により、将来にわたり地域を支えていく人材を育成する。
- ③ 小中学校との生徒間交流事業や教員研修、各種団体との連携を通して、「オール輪島」で生徒を育てる。

### (4) 多忙化改善を積極的に実現する学校

- ① 被災環境の中、全ての行事についてその意義や効果を見直した上で、再開・廃止・変更などを検討し、業務の効率化と最適化を図る。
- ② 教員の日常生活の再開と維持に向けて、生活環境の整備を行政等に働きかけ、ワークライフバランスの充実を果たす。
- ③ 生徒、教職員ともに時間管理や健康管理などセルフマネジメントに対する意識を高め、効率性向上に努める。